



あすぴあ 通信



発行：小平市民活動支援センター あすぴあ



組織運営の肝をつかむ 第4回 11月5日(土)

中長期計画を立て、次の担い手を育てる

講師：川北秀人さん

(IIHOE 人と組織と地球のための国際研究所代表者)

講師は市民活動団体のマネジメントや協働に関する研修で全国を飛び回っている方。今回の講座では、事前に講師から参加者に対して課題が出されました。団体の設立理念、立ち向かう課題の現状と見通し、関係する各セクターの動き、今後の事業の整理・優先度合など、中期的な戦略の基礎を確認するためのものです。



川北秀人さん

講座当日は、小平市の長期総合計画や財政状況の推移、公表直後の国勢調査の結果も踏まえた人口推移、公共施設マネジメント基本計画など様々なデータから導き出した小平の近未来の姿を示し、「これまでの20年とこれからの20年は違う！」として「ニーズに基づく活動方針の重要性」について話をしました。さらに、

- ・あなたは「社会を変えたい」のか「社会に良さそうなことをしたい」だけなのか
- ・NPOは一步先の視野を持ち、半歩先のプログラムを提供。そして中間支援組織は更にその先を見据えて行動する。

など、小平の市民活動団体を発奮させる言葉をいくつも残されました。そして、これだけはぜひやって欲しいというのが「設立目的を名刺に書く、総会で読み上げる、そして必要なら改定する」「ボランティアのルールを決める」「スタッフに感謝する機会を設ける」こと。さっそく行動に移した団体もあったようです。

アンケートの結果では参加者の8割が90~100点の満足度だったことから、今回の講座で“組織運営の肝”をつかんだのではないかと思います。

組織運営の肝をつかむ 第3回 9月30日(金)

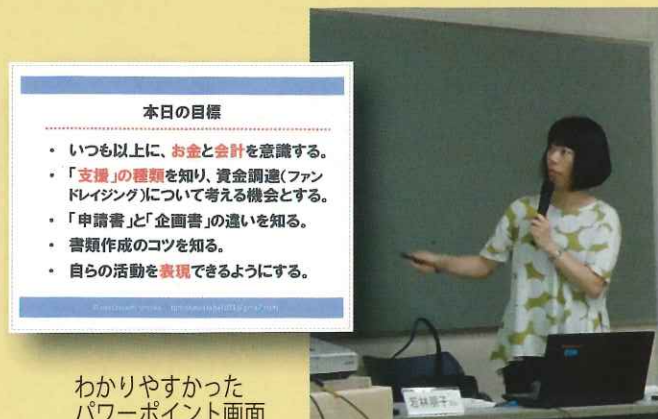
思いをカタチにする 企画書・申請書の作り方

講師：若林朋子さん(プロジェクト・コーディネーター)

講師は企業メセナの分野で活躍してきた方。ご自身でも企業に向けて企画書を出し、その一方で助成金の審査にも携わって来たので、具体的な事例や実践に基づく知見を随所に取り入れながらの講座でした。

最初に社会活動をめぐる「支援」のさまざまな種類と資金調達(ファンドレイジング)の全体像を把握したのち、企画書と申請書の違い、それぞれの作成ポイントを詳しく解説。合間に、ファンドレイズを始める前に自問すべきことや事前準備の大切さなどに触れ、「書く」以前の「肝」の部分の丁寧な解説もありました。

話し言葉そのままに次々と繰り出される50枚以上のパワーポイントシートによる説明は、「とても聴きやすい」「資料も充分でわかりやすい」「助成金の申請と審査両方の立場からのお話がとても参考になった」など、参加者にとっても好評でした。この時の充実した資料は今後のあすぴあでの相談業務に活用させていただくことになりました。

わかりやすかった
パワーポイント画面

若林朋子さん